

# 令和7年度 基本施策評価シート

基本施策	E6	車や公共交通による移動の円滑化を図ります		
2025年度に めざす姿	対 象		意 図	
	市民が		道路や公共交通を安全で快適に利用している。	
第五次総合計画[前期基本計画]基本施策掲載ページ			138ページ	
基本施策主管課名	土木企画課	関係課名	土木企画課、土木建設課、公共交通対策室	

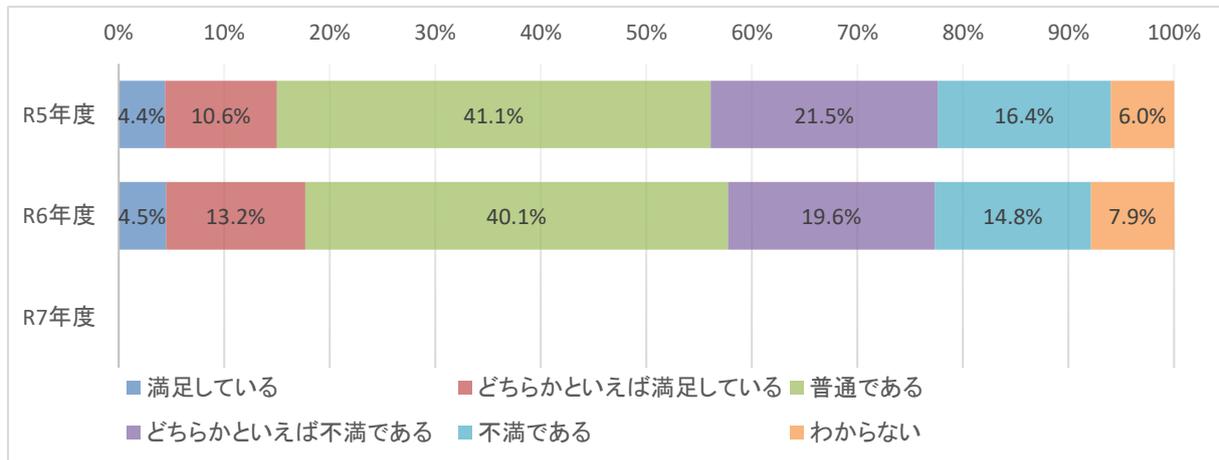
## 基本施策の総合評価

総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長崎南北幹線道路などの高規格道路の整備に向けた調査・設計が進められ、着実に進捗が図られた。また、一般国道34号馬町交差点の改良が進められるなど、既存幹線道路における道路環境の改善が図られた。一方、一般国道499号(栄上工区)では一部の用地交渉等に時間を要しているなど、事業が長期化している路線がある。</li> <li>●補助幹道路は、路線や区間を集中して整備を行うなど、事業効果の早期発現に向けた取組みを進めているが、国の事業認可を受けた各路線の整備計画延長が長いことによる事業長期化の課題が継続している。</li> <li>●コミュニティバスや乗合タクシーの運行への支援などの実施により、交通が不便な地域の住民の公共交通の維持・確保が図られたが、交通事業者は依然として厳しい経営状況にあり、また、運転手不足により路線を維持することも難しくなっている。</li> <li>●長崎市地域公共交通計画改定に向けて、市民アンケート調査や現計画の評価を行い、市民の公共交通に対する意向を確認や、これまでの施策の有効性の確認ができた。</li> </ul> <p>以上を踏まえ、今後の主な取組みは次のとおりとする。</p>
E6-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高規格道路長崎南北幹線道路や西彼杵道路の事業中区間の早期整備及び未着手区間の早期事業化、幹線道路である一般国道34号、一般国道202号、一般国道499号、長崎南環状線などの事業中区間の早期完成に向け、国や県などに対して引き続き要望を行う。</li> <li>●補助幹線道路(江平浜平線や虹が丘町西町1号線など)の路線において、事業効果の早期発現に向け、予算配分の精査を行い、事業の選択と集中による整備を推進する。</li> </ul>
E6-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「長崎市地域公共交通計画」に掲げた取組に従い、公共交通事業者等と一体となって路線の維持・確保や利便性向上に向けて推進していく。</li> <li>●公共交通事業者による運転士確保策に、可能な限り支援を行い、公共交通機関の担い手の確保に努める。</li> <li>●IC利用データなどを活用した公共交通の利用状況の分析を行うとともに、市民の公共交通に対する考えや、これまでの施策の検証を行った上で、地域公共交通計画を改定する。</li> </ul>

## 二次評価(施策評価会議による評価)

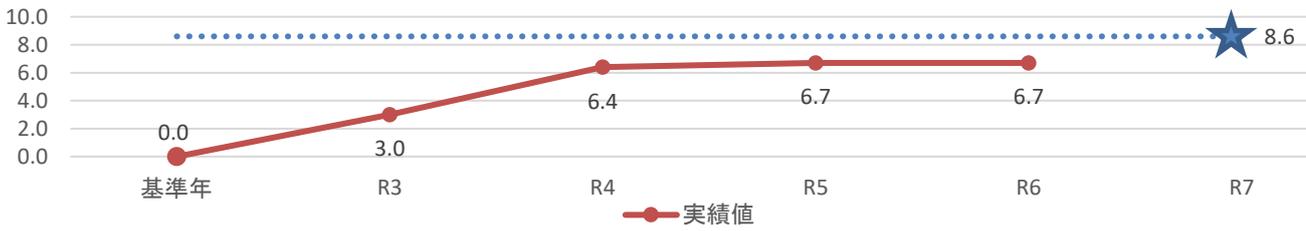
【E6-2】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成果指標については、後期基本計画に向けて公共交通の維持・確保について進捗がはかることができるような指標設定を検討すること。</li> </ul>
--------	--

## 基本施策に対する市民満足度調査結果



## 成果指標

指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					前年度 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
広域幹線道路の整備延長[累計]	0km (R2年度)	8.6km (R7年度)	3.0	6.4	6.7	6.7	-	→



指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合	63.2% (R2年度)	63.2% (R7年度)	58.9	59.1	58.8	55.8	-	→



## 年度別 主な取組内容

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域幹線道路や幹線道路の整備促進を図るため、地方公共団体や関係団体で設立した期成会を中心に、国や県等に対して積極的に要望を行った。</li> <li>・江平浜平線など6路線の補助幹線道路の整備を行った。</li> <li>・籠町稲田町1号線、新市庁舎周辺道路について、無電柱化事業を行った。</li> <li>・東部地区における矢上バス停を拠点としたハブ&amp;スポーク型運行への再編を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域幹線道路や幹線道路の整備促進を図るため、地方公共団体や関係団体で設立した期成会を中心に、国や県等に対して積極的に要望を行った。</li> <li>・江平浜平線など6路線の補助幹線道路の整備を行った。</li> <li>・籠町稲田町1号線、新市庁舎周辺道路について、無電柱化事業を行った。</li> <li>・バスロケーションシステムの導入とスマートバス停36箇所の設置を行った。</li> <li>・バス・路面電車運賃無料デーを7回実施した。</li> <li>・バス・路面電車の昼間定期券割引を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域幹線道路や幹線道路の整備促進を図るため、地方公共団体や関係団体で設立した期成会を中心に、国や県等に対して積極的に要望を行った。</li> <li>・江平浜平線など6路線の補助幹線道路の整備や用地取得を進めた。</li> <li>・籠町稲田町1号線、新市庁舎周辺道路について、無電柱化事業を行った。</li> <li>・長崎市地域公共交通計画改定に向けて、市民アンケート調査や現計画の評価を行い、地域住民の公共交通の維持・確保に向けた検討を行った。</li> <li>・豪雨等による河川氾濫が発生した際の軌道施設等の浸水対策として、止水版設置の支援を行い、公共交通のサービス向上を図った。</li> </ul>	

令和7年度 個別施策評価シート・まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

個別施策	E6-1	良好な道路ネットワークを形成します
2025年度に めざす姿	対象	意 図
	市民が	目的地まで迅速かつ安全・快適に移動している。
個別施策主管課名	土木企画課	

まち・ひと・しごと創生総合戦略施策

目標／具体的施策	
基3・(3)	「まちの形」と「まちを支えるしくみ」をつくる／地域をネットワークでつなぐ
特・(3)	交流の産業化／交流を支える都市の基盤整備

成果

① 広域幹線道路網の整備促進

- ★高規格道路整備について、県が事業を進めている長崎南北幹線道路の茂里町～滑石工区においては工事に向けた調査・設計が進められ、西彼杵道路 時津町日並郷～長浦区間においては事業化に向けた環境影響評価が進められた。また、長崎南北幹線道路と西彼杵道路のアクセス道路となる(主)長崎畝刈線 滑石工区においては設計が完了した。  
関連する総合戦略施策 特・(3)
- ★幹線道路整備について、県が事業を進めている長崎南環状線において、(仮称)江川トンネル約2.1kmのうち約1.0kmの掘削が完了し、橋梁やインターチェンジ部の工事も継続して進められた。  
関連する総合戦略施策 特・(3)
- ★補助幹線道路(江平浜平線、虹が丘町西町1号線など)の路線について、完成に近づいている路線への予算配分や、一部区間の暫定供用に向け整備区間を集中して実施するなど、事業効果を早期に発現するための取組みを進めた。  
関連する総合戦略施策 基3・(3)

② 既存道路の安全性・快適性の向上

- 国が事業を進めている一般国道34号において、馬町交差点の改良が進められ、左折専用レーンの設置や諏訪神社電停のバリアフリー化がなされた。また、一般国道202号においては、一部区間の歩道が整備された。
- 籠町稲田町1号線、新市庁舎周辺道路について、無電柱化工事を行い、対象路線の無電柱化率は88.9%となり、安全で快適な道路環境に近づいた。

問題点とその要因

① 広域幹線道路網の整備促進

- ★高規格道路長崎南北幹線道路及び西彼杵道路の未整備区間について、一部の区間で事業化されているが、計画区間が長く、ルートを選定や構造など検討すべき項目が多岐にわたることから、事業化に至っていない区間がある。  
関連する総合戦略施策 特・(3)
- ★県が事業を進めている一般国道499号(栄上工区)について、一部の用地交渉等に時間を要しているため、事業が長期化している。  
関連する総合戦略施策 特・(3)
- ★補助幹線道路について、整備中の路線が多く、また国の事業認可を受けた各路線の整備計画延長が長いことから、事業が長期化しており、多くの路線において事業効果の発現に至っていない。  
関連する総合戦略施策 基3・(3)

② 既存道路の安全性・快適性の向上

- 東長崎地区の一般国道34号において、朝夕を中心に混雑が発生している状況であるが、交通管理者との協議を含めた対策内容の検討に時間を要しており、事業の実現まで至っていない。
- 無電柱化事業における現在整備中の路線について、事業区間が長く、また各電線管理者との調整に時間を要していることから、事業が長期化している。

## 今後の取組方針

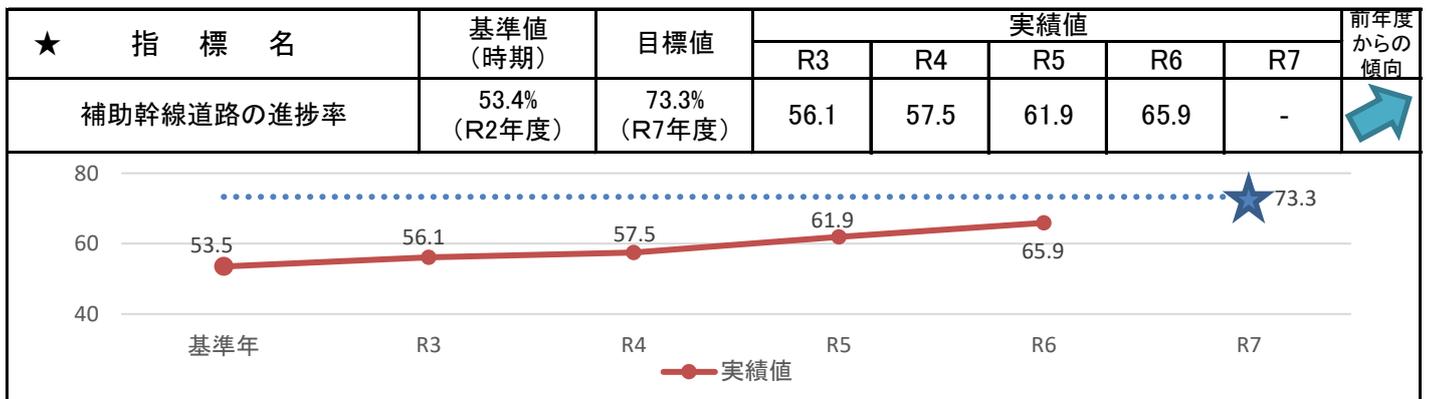
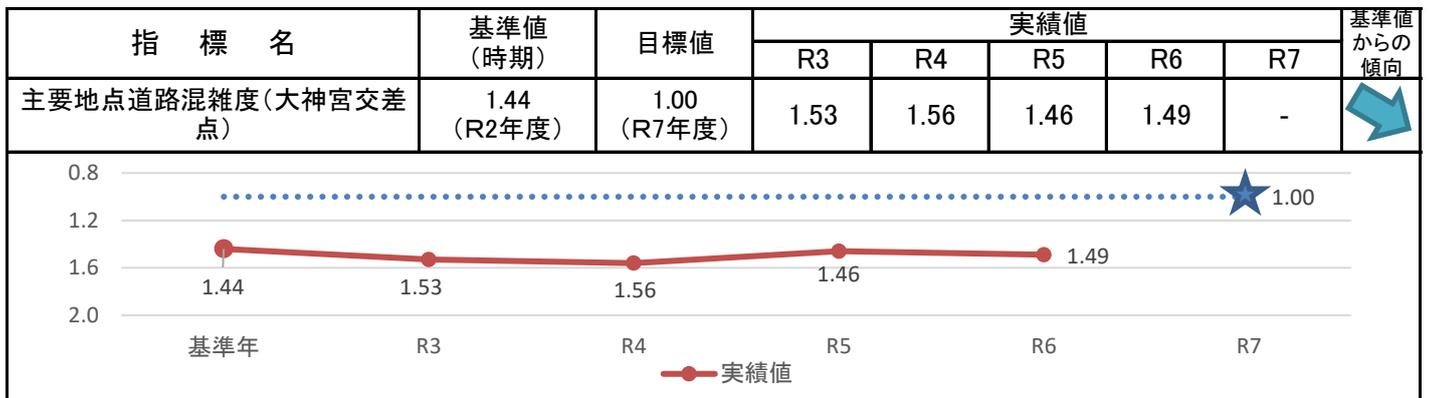
### ① 広域幹線道路網の整備促進

継続	<p>★高規格道路長崎南北幹線道路や西彼杵道路の事業中区間において、進捗を図るために必要となる道路予算の確保や、未着手区間の早期事業化に向け、引き続き国や県などに対し要望を行う。</p> <p style="text-align: right;">関連する総合戦略施策      特・(3)</p>
改善	<p>★補助幹線道路(江平浜平線や虹が丘町西町1号線など)の路線において、事業効果の早期発現に向け、予算配分の精査を行い、事業の選択と集中による整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">関連する総合戦略施策      基3・(3)</p>

### ② 既存道路の安全性・快適性の向上

継続	<p>●一般国道34号の未整備区間や一般国道202号の事業中区間の早期整備に向け、引き続き国や県などに対して要望を行う。</p>
改善	<p>●現在、無電柱化を実施している路線について、予算配分の精査や国などに対し予算確保に向けた要望を行うとともに、円滑な事業進捗を図るため各電線管理者とスケジュール調整を実施し、整備を推進する。</p>

## 成果指標



施策を推進する主な事業

	事業名 担当課	【補助】道路新設改良事業費 江平浜平線	土木建設課
1	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	 <p>【整備状況(江平浜平線)】</p>
	目標値	83.2%	
	総事業進捗率	83.1%	
	達成率	99.9%	
	当該年度執行率	94.2%	
	成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
	事業目的	江平地区の交通環境の改善及び居住環境の向上、市内交通混雑の緩和を図るため、道路の新設と拡幅改良を行うものである。	
事業概要	【事業期間】平成9年度～令和11年度（認可期間 平成9年度～令和8年度） 【総事業量】L=2,260m、W=9.8m 【総事業費】4,600,000千円 【事業費累計】3,824,662千円		
取組実績	・【工事】L=123.5m		
	決算(見込)額		58,382,000 円

令和7年度 個別施策評価シート・まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

個別施策	E6-2	公共交通を維持します
2025年度に めざす姿	対象	意 図
	公共交通が	市民の移動を支えつつけている。
個別施策主管課名	公共交通対策室	

まち・ひと・しごと創生総合戦略施策

目標／具体的施策

基3・(3)

「まちの形」と「まちを支えるしくみ」をつくる／地域をネットワークでつなぐ

成果

① 公共交通の維持

★伊王島線、高島線など11路線、1地区においてコミュニティバスの運行を支援し、バス空白地域や交通が不便な地域の住民の公共交通の維持・確保が図られた。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★丸善団地地区など5地区において乗合タクシーの運行を支援し、交通が不便な地域の住民の公共交通の維持・確保が図られた。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★長崎市地域公共交通計画改定に向けて、市民アンケート調査や現計画の評価を行い、公共交通の維持・確保に向けた検討を行った。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★バス・路面電車運賃無料デーについて、利用者アンケート調査で、利用者の約3割が「公共交通の利用が増えた」、日頃公共交通を利用しない約2割の人の内、約6割の人が、「今後、公共交通を使うようにしたい」との回答が得られたことから、「新たな需要の掘り起こし」に繋がったものと想定され、公共交通の維持・確保に寄与した。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

② 公共交通の利便性向上

★豪雨等による河川氾濫が発生した際の軌道施設等の浸水対策として、止水版設置の支援を行い、公共交通のサービス向上を図った。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★コミュニティバス伊王島線において、バス交通事業者と連携し、既存路線を伊王島島外の香焼安保地区まで延伸し、路線バスとの接続性を高める見直しを行い、公共交通利用者の利便性向上を図った。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★バスロケーションシステムについて、県営バスが令和6年3月14日から、長崎自動車(株)が令和6年4月1日から運用を開始し、令和6年11月から令和7年1月にかけて実施した長崎市公共交通アンケート調査において、公共交通が便利になった理由について、7割以上の人が「運行状況などが調べやすくなった」との回答を得たことから、公共交通の利便性向上に寄与した。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

問題点とその要因

① 公共交通の維持

★人口減少に伴う利用者減少が進行するとともに、運転士不足により、利用者が少ない路線を中心に、減便や路線廃止が進む可能性が高まっている。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

★利用者減少に伴う収益の減少や、燃料費、車両維持費の上昇により、交通事業者の収支が悪化している。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

② 公共交通の利便性の向上

★路線の効率的な運行を目的としたハブ&スポーク型運行は、利用者に乗継ぎなど新たな負担が生じていることから、その軽減を図りたいが、交通事業者の収支が悪化していることから、新たな設備投資が難しい状況となっている。

関連する総合戦略施策 基3・(3)

## 今後の取組方針

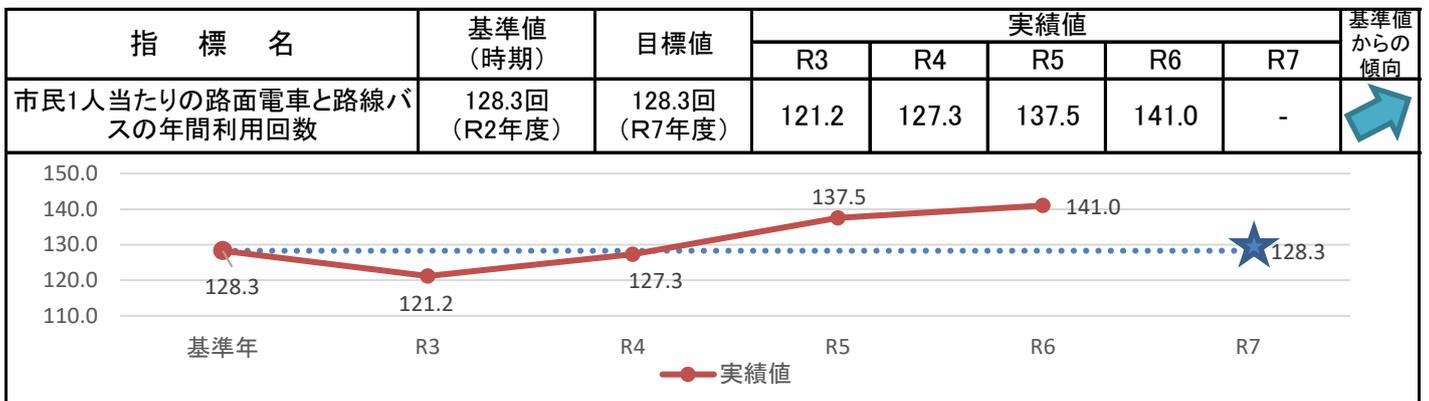
### ① 公共交通の維持

継続	★「長崎市地域公共交通計画」に掲げた「既存路線の効率化・見直し」の取組みに従い、コミュニティバスや乗合タクシーの需要に即した運行計画の見直しを行う。 関連する総合戦略施策 基3・(3)
改善	★IC利用データなどを活用した公共交通の利用状況の分析を行うとともに、市民の公共交通に対する考えや、これまでの施策の検証を行った上で、地域公共交通計画を改定する。 関連する総合戦略施策 基3・(3)
継続	★公共交通事業者による運転士確保策に、可能な限り支援を行い、公共交通機関の担い手の確保に努める。 関連する総合戦略施策 基3・(3)

### ② 公共交通の利便性向上

継続	★車両等更新を始め、公共交通機関のバリアフリー化や先進的なICT技術の積極的な導入など「長崎市地域公共交通計画」に掲げた「公共交通サービスの向上」の取組みを推進する。 関連する総合戦略施策 基3・(3)
改善	★路面電車において、交通系ICカードによる運賃支払いに加えて、国内外問わず多くの方が所有しているクレジットカードを機器にタッチすることで運賃支払いができるタッチ決済を、軌道事業者と共に推進する。 関連する総合戦略施策 基3・(3)

## 成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	コミュニティバス運行費		公共交通対策室
	成果指標	年間輸送人員		 <p>【コミュニティバス】</p>
	目標値	249,000人		
	実績値	241,608人		
	達成率	97.0%		
	成果指標・ 目標値の説明	住民の利便性向上を客観的に判断する指標として、年間の輸送人員(全路線合計)を成果指標とした。人口減少の中でも利用者数は前年度並みの実績を維持することとし、令和5年度の輸送人員を目標値とした。		
	事業目的	既存バス路線等を補完するコミュニティバス及びデマンド交通を運行することで、合併地区等の公共交通が不便な地域の生活の利便性向上を図る。		
	事業概要	コミュニティバス等の運行に係る経費を支援する。(欠損額の補填)		
取組実績	コミュニティバス運行 11路線 デマンド交通運行 1区域			
	決算(見込)額		137,341,254 円	

2	事業名 担当課	公共交通空白地域対策費		公共交通対策室
	成果指標	年間輸送人員		 <p>【乗合タクシー】</p>
	目標値	169,000人		
	実績値	158,807人		
	達成率	94.0%		
	成果指標・ 目標値の説明	住民の利便性向上を客観的に判断する指標として、年間の輸送人員(全路線合計)を成果指標とした。人口減少の中でも利用者数は前年度並みの実績を維持することとし、令和5年度の輸送人員を目標値とした。		
	事業目的	バス空白地域において乗合タクシーを運行することで、バス空白地域を解消し、地域住民の利便性の向上と公共交通機関の利用促進、さらには、高齢者の社会参加の促進を図る。		
	事業概要	乗合タクシーの運行に係る経費を支援する。(欠損額の補填)		
取組実績	乗合タクシー運行 5地区(丸善団地、矢の平・伊良林、北大浦、金堀、西北)			
	決算(見込)額		16,764,864 円	